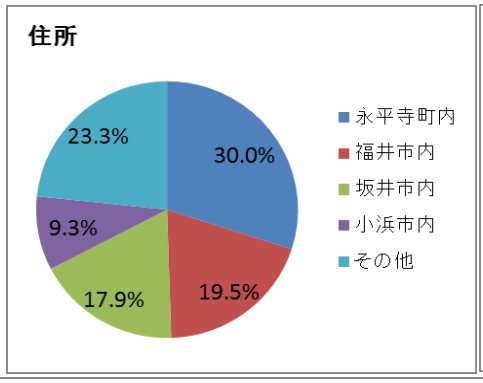
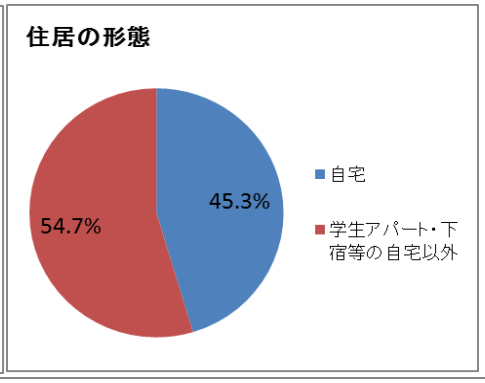
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

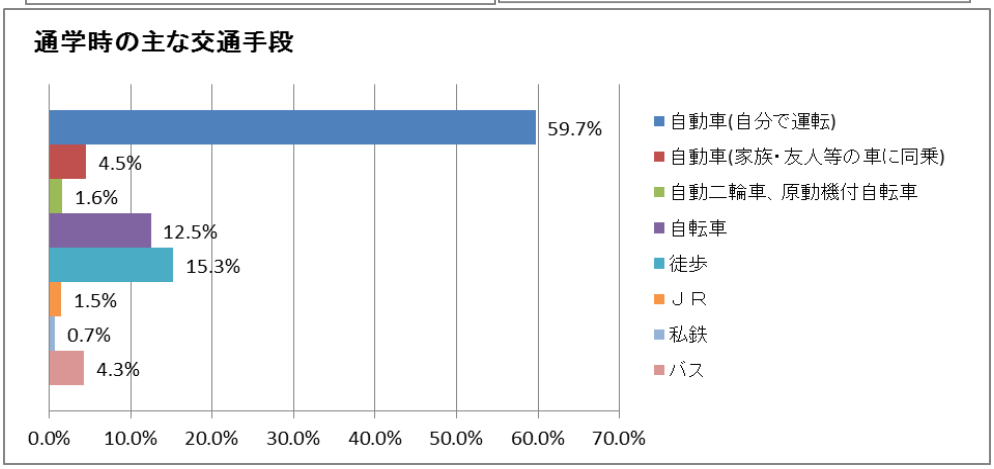
令和元年10月、「学生生活に関するアンケート」を学部生および大学院生 1,794名を対象に実施し、1,282名から回答があった。(回収率 71.5%)
アンケートの概要は以下のとおり。

1　現住所・住居の形態、通学方法について

現住所は永平寺町内が 30.0% と最も多く、住所の形態については、「学生アパート・下宿等の自宅以外」が多く 54.7% であった。通学時の主な交通手段は、「自動車(自分で運転)」が 59.7% と最も多く、続いて「徒歩」、「自転車」となった。

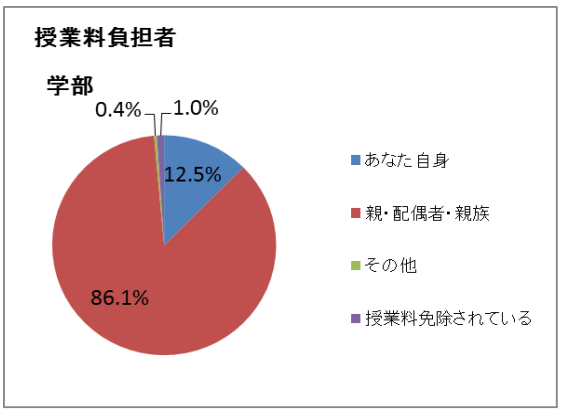


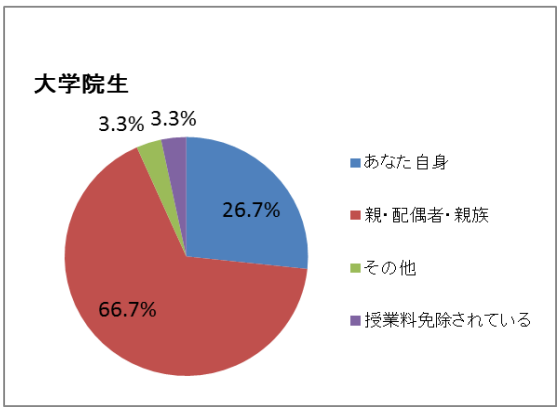




2　経済的事項について

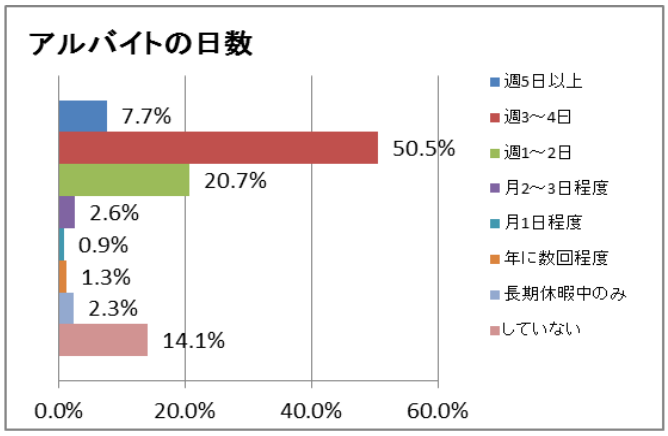
「授業料は主にだれが負担していますか」の問いに対し、学部生、大学院生ともに「親・配偶者・親族」が最も多くそれぞれ 86.1% 、66.7% であった。

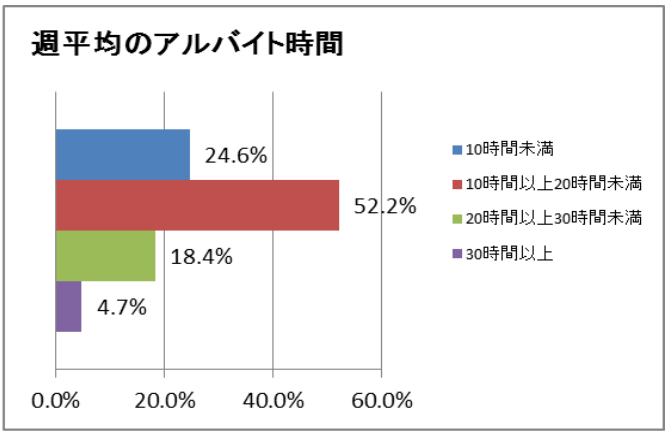


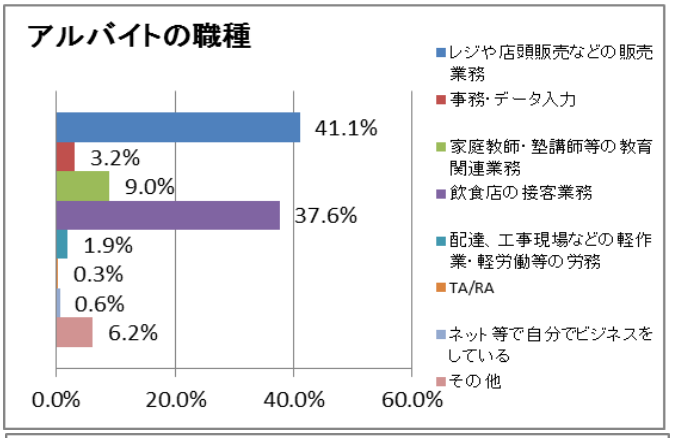


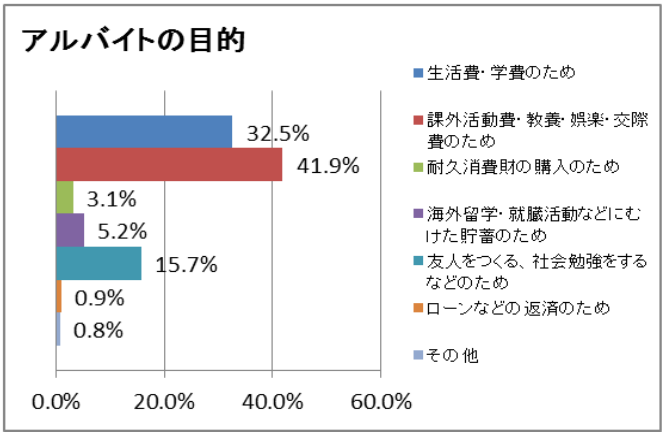
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

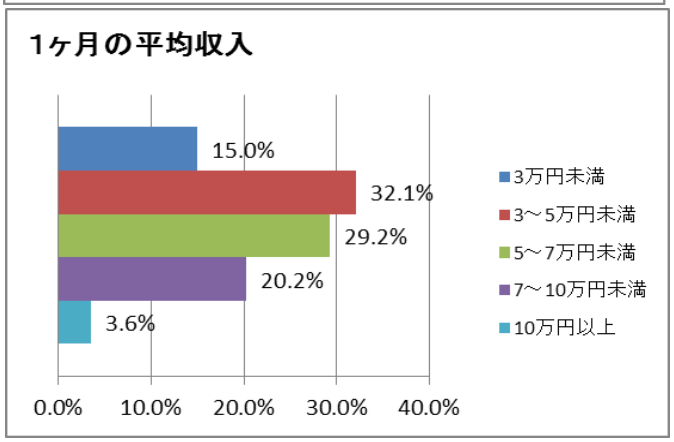
アルバイトをする日数については「週3～4日」が最も多く 50.5% であり、1週間あたりの平均アルバイト時間は、「10時間以上20時間未満」が最も多く 52.2% であった。
アルバイトの職種は多い順から「レジや店頭販売などの販売業務」、「飲食店の接客業務」となった。
アルバイトをする目的は「課外活動費・教養・娯楽・交際費のため」が 41.9% 、「生活費・学費のため」が 32.5% となった。
アルバイトによる1ヶ月の平均収入は、「3～5万円未満」が最も多く 32.1% であった。





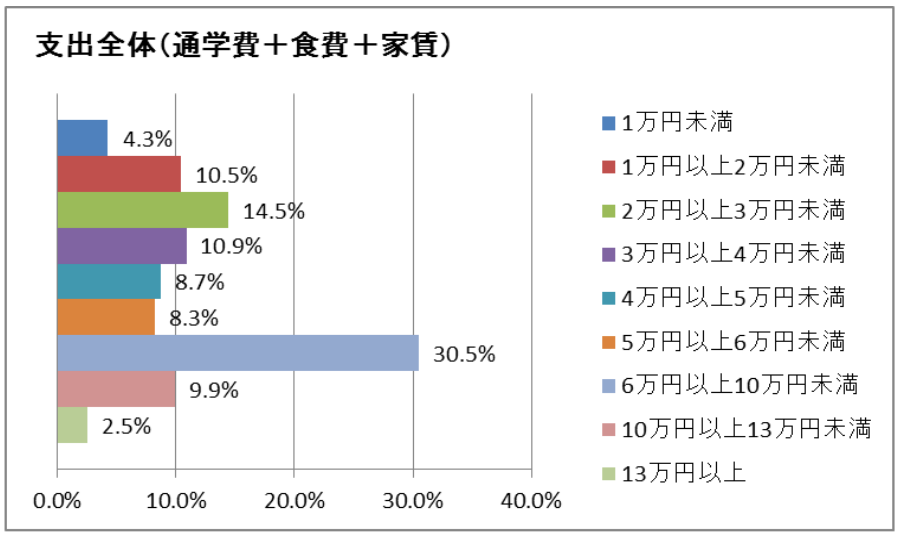


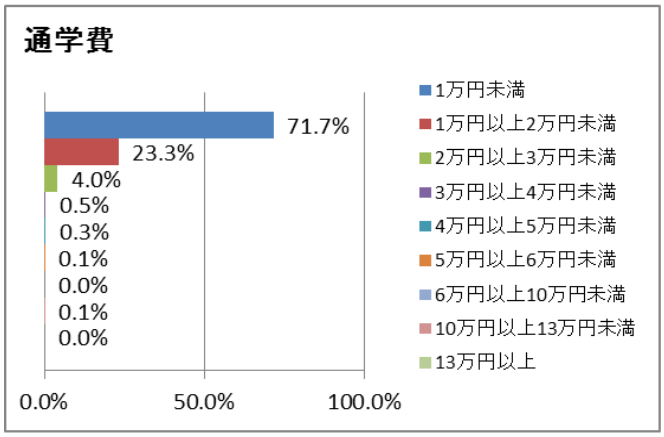


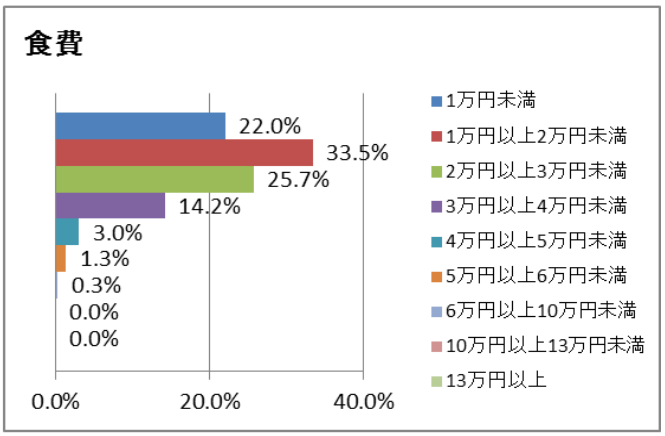


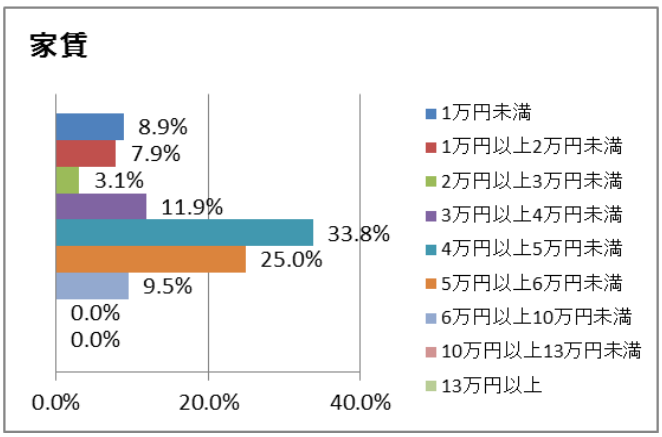
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

1ヶ月の平均支出額は、「6万円以上10万円未満」が最も多く 30.5% であった。
通学費は「1万円未満」、食費は「1万円以上2万円未満」、家賃は「4万円以上5万円未満」が最も多かった。





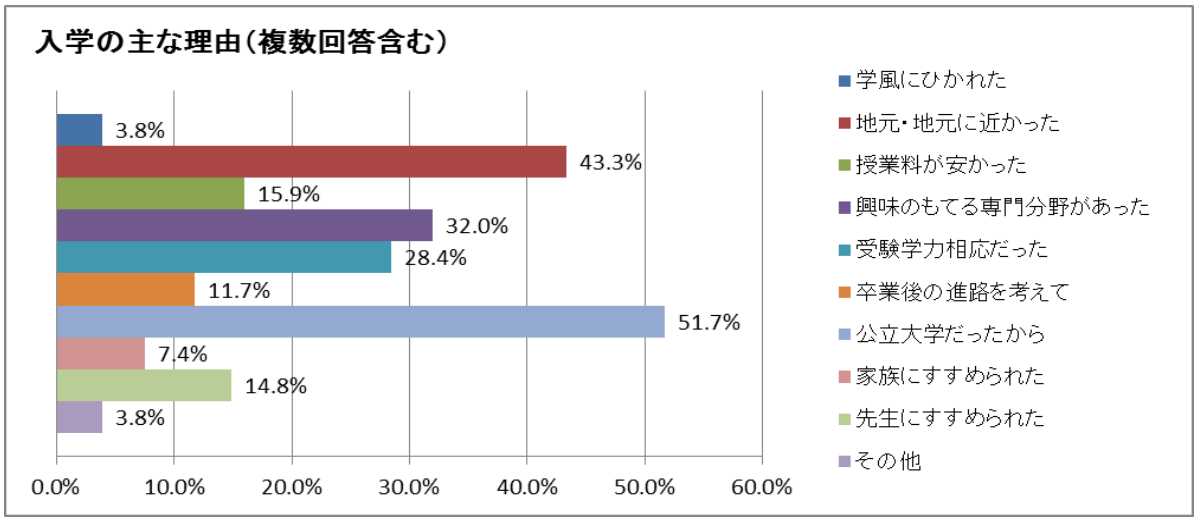




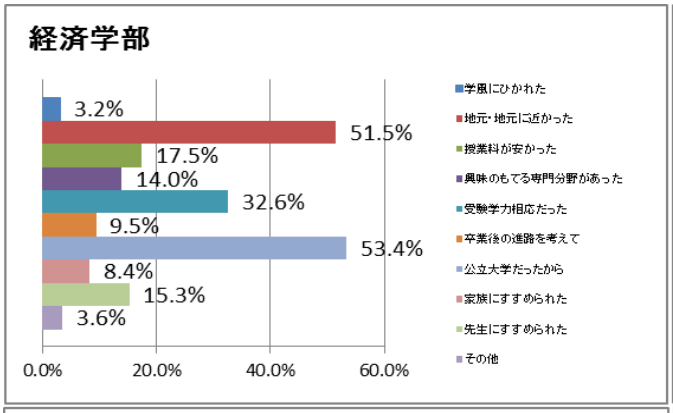
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

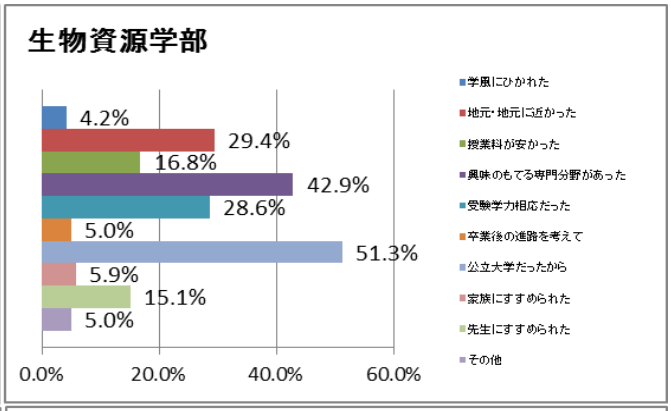
3　学業状況について

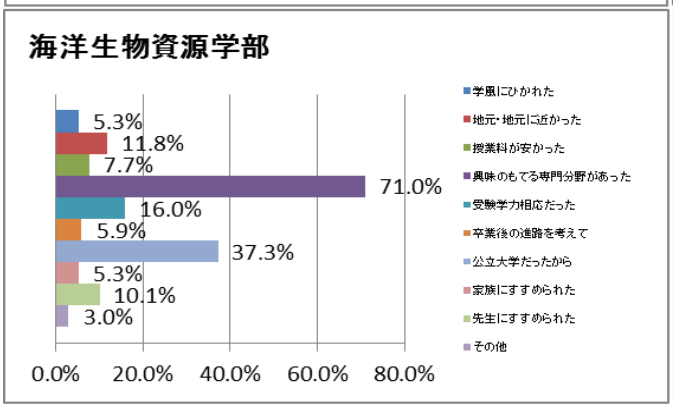
学部生に対する「本学に入学した主な理由について」のアンケート結果は、「公立大学だったから」が最も多く 全体の 51.7% であった。続いて、「地元または地元に近かったから」が 43.3% 、「興味のもてる専門分野があった」が 32.0% となった。

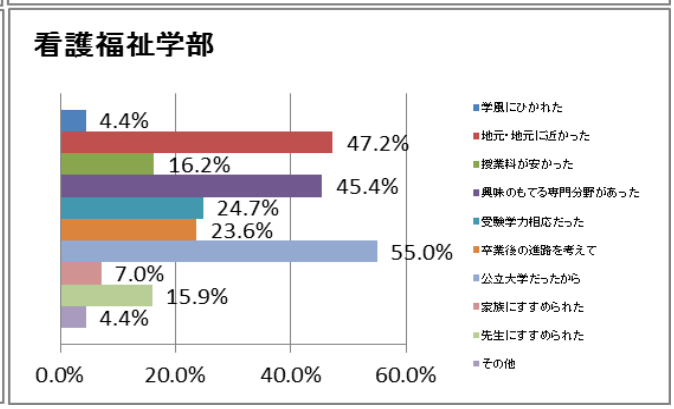


各学部の「本学に入学した主な理由について」は次のとおりである。



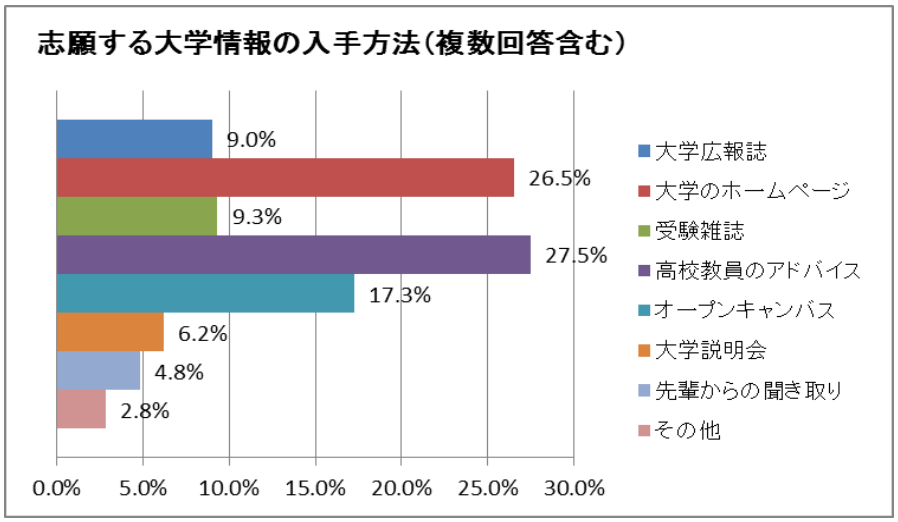




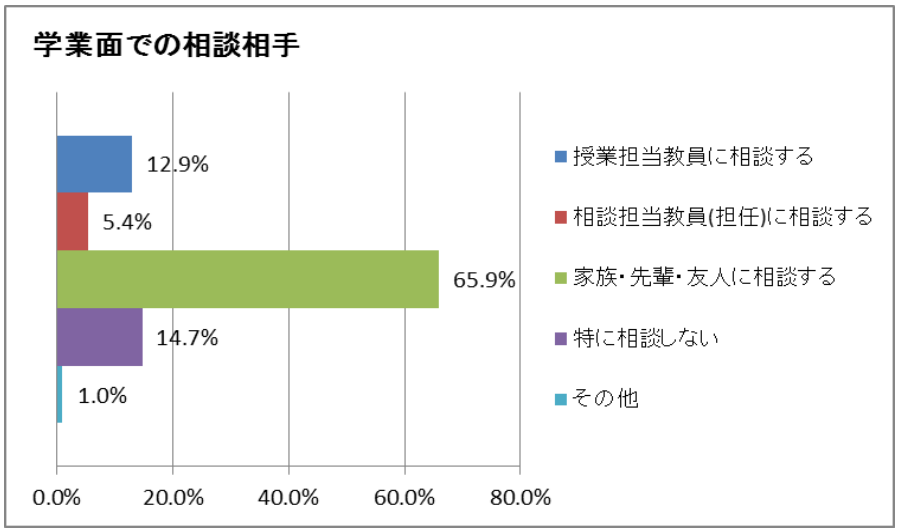


令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

学部生に対する「志願する大学情報の入手方法」に関するアンケート結果は、「高校教員のアドバイス」が最も多く全体の 27.5% であった。続いて、「大学のホームページ」が 26.5% 、「オープンキャンパス」が 17.3% となった。

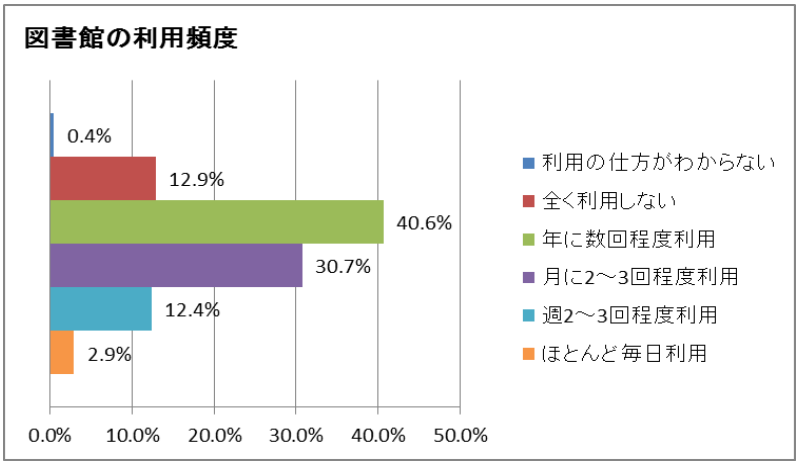


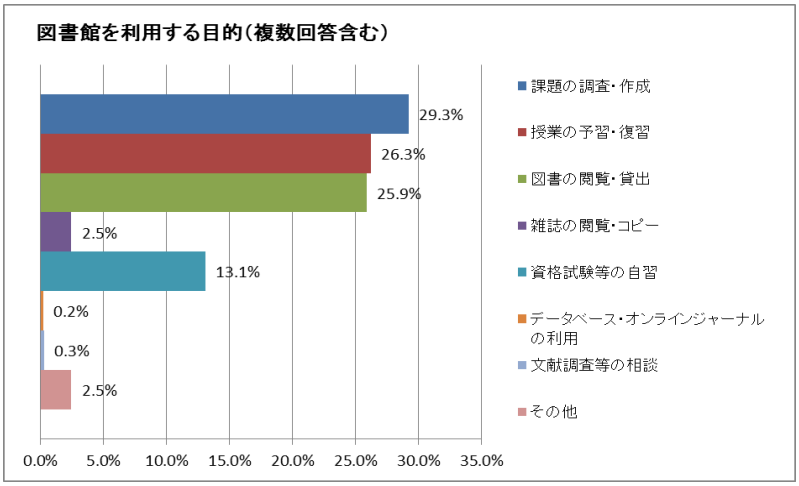
学部生に対する「学業面において困ったときには誰に相談しますか。」の問いについて、「家族・先輩・友人に相談する」と答えた学部生は全体の 65.9% であった。



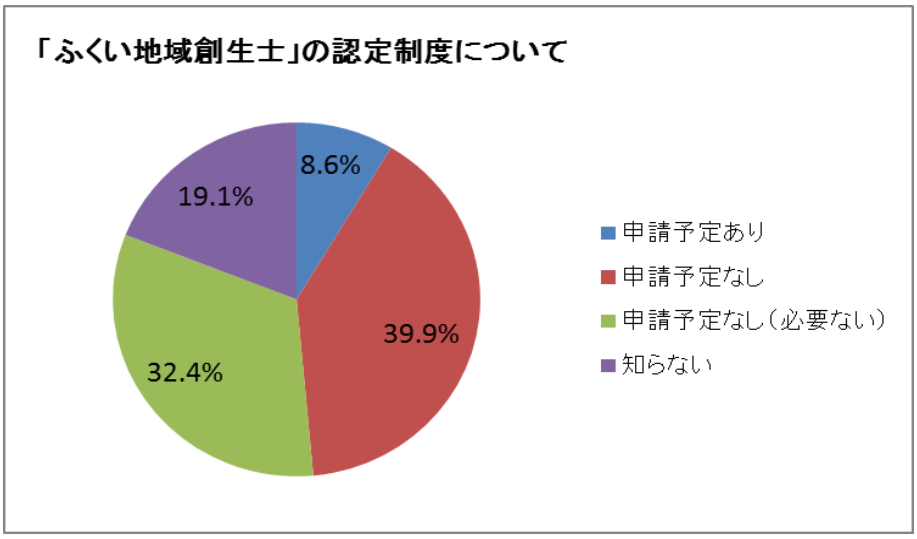
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

「図書館の利用頻度」の問いについて、「年に数回程度利用」と答えた学部生が、最も多く全体の40.6% であった。図書館の利用する目的は、多い順で「課題の調査・作成」、「授業の予習・復習」、「図書の閲覧・貸出」となった。





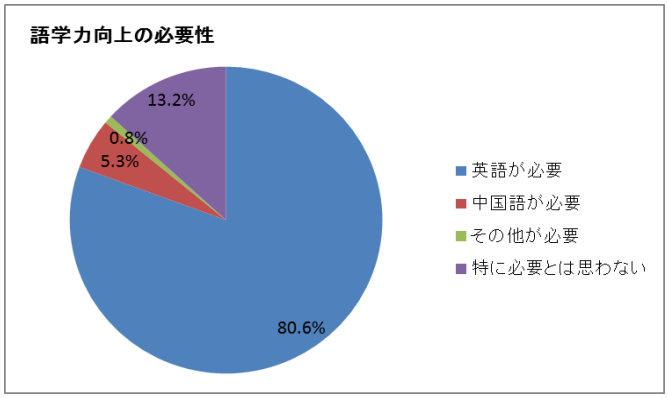
学部生1～3年次生に対する「ふくい地域創生士の認定制度」の問いについて、「申請予定あり」が8.6% 、「申請予定なし」が合計で 72.3% となった。

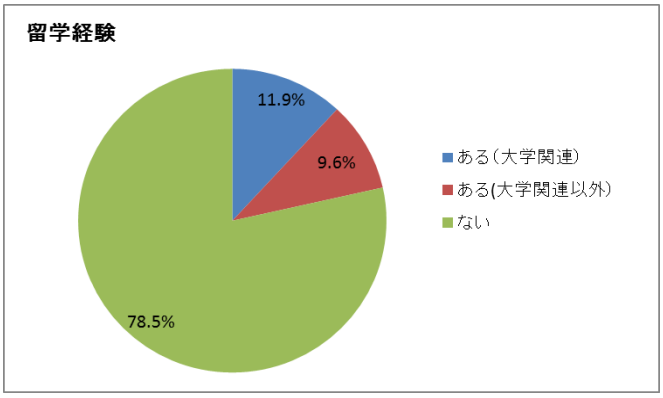


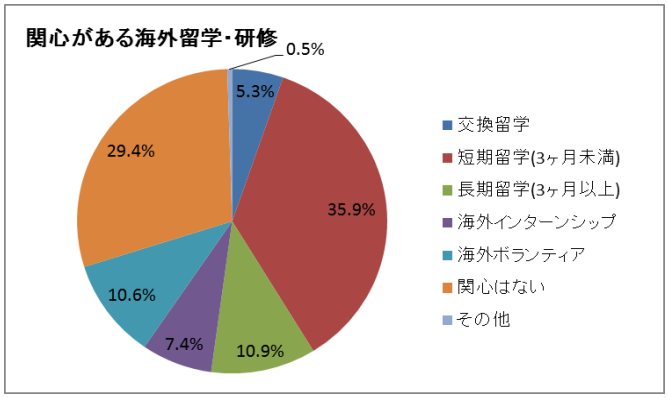
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

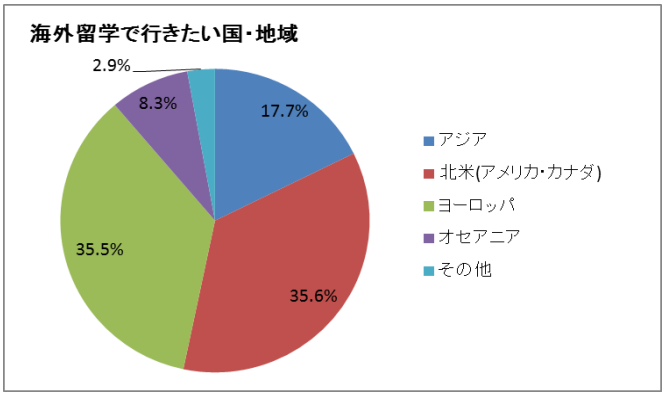
≪国際交流について≫

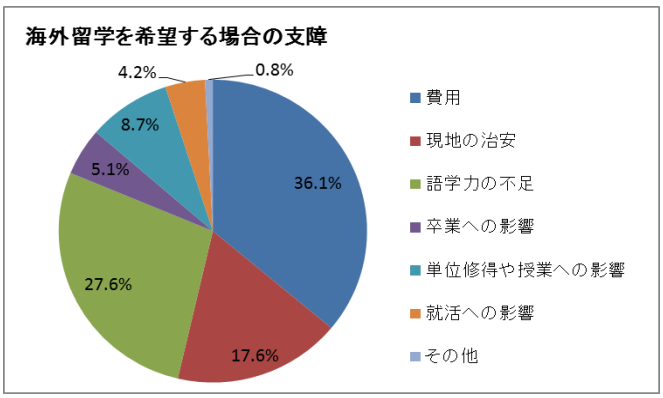
「語学力向上の必要性を感じていますか」の問いに対し、「英語が必要」が最も多く 80.6% であった。留学経験については、「ない」が最も多く 78.5% であった。
「関心がある海外留学・研修」について最も多かった回答は、「短期留学（3カ月未満）」で 35.9% であった。
「海外留学で行きたい国・地域」について、多い順に「北米（アメリカ・カナダ）」、「ヨーロッパ」となった。
「海外留学を希望する場合に支障となること」の問いに対し、「費用」が 36.1% 、「語学力の不足」が 27.6% となった。

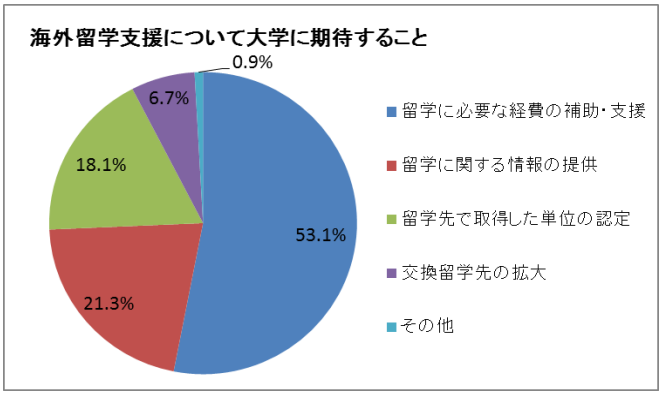








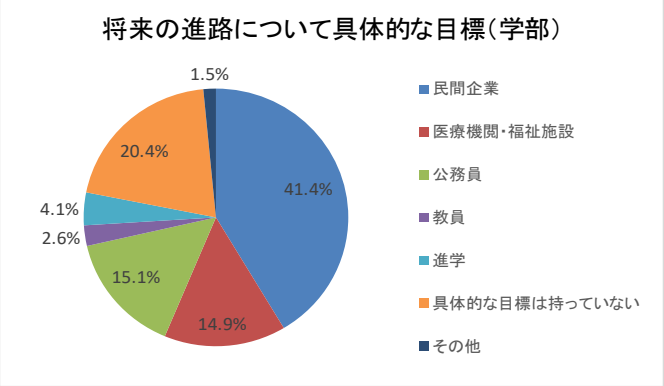


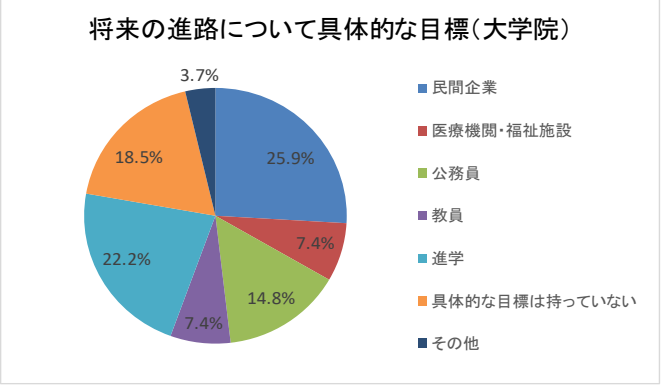


令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

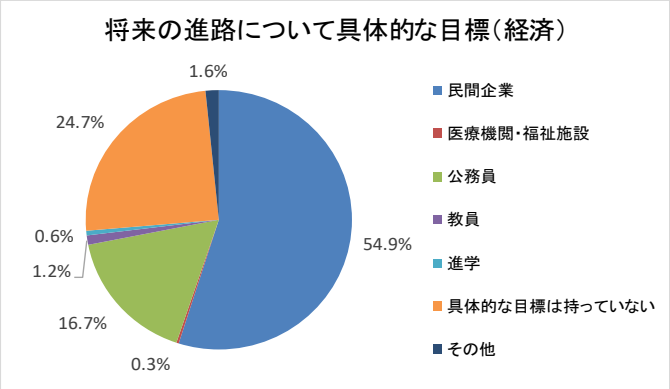
≪卒業後の進路について≫

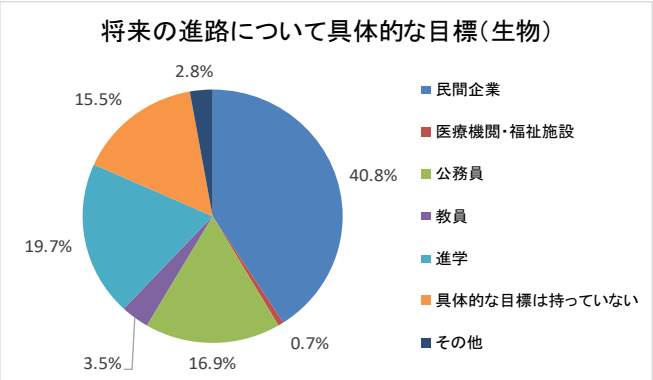
「将来の進路について具体的な目標をもっていますか」の問いに対し、学部生・大学院生ともに「民間企業」が最も多かった。

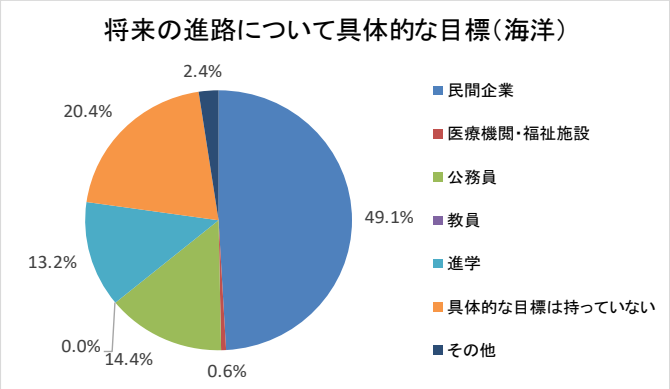


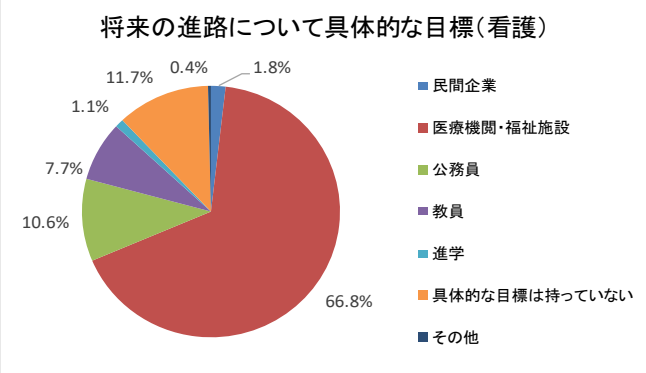


各学部の「将来の進路について具体的な目標をもっていますか」の結果は次のとおりである。



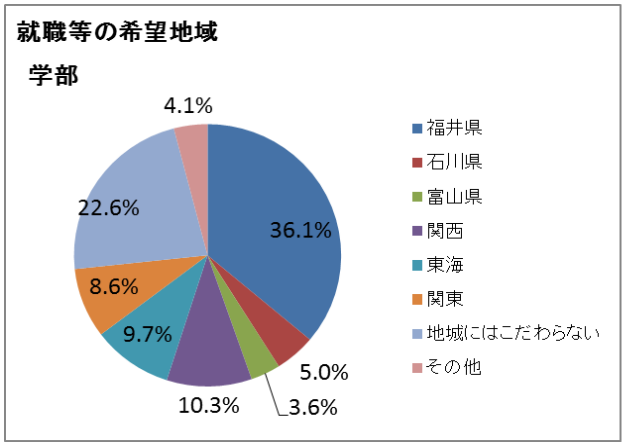


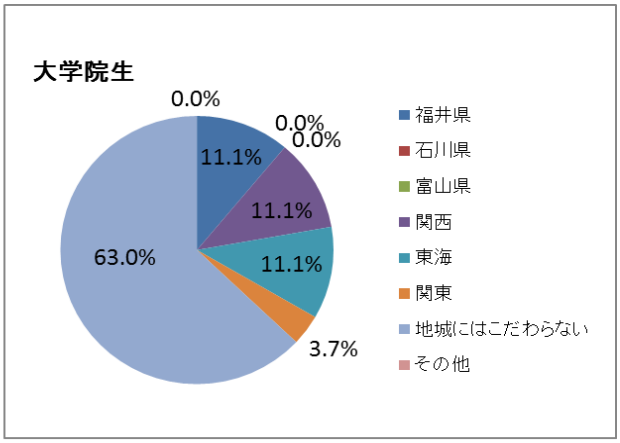




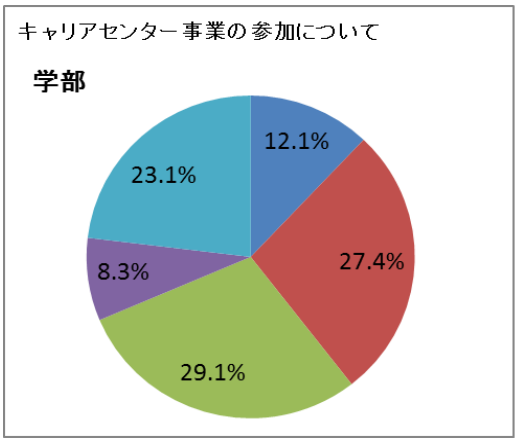
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

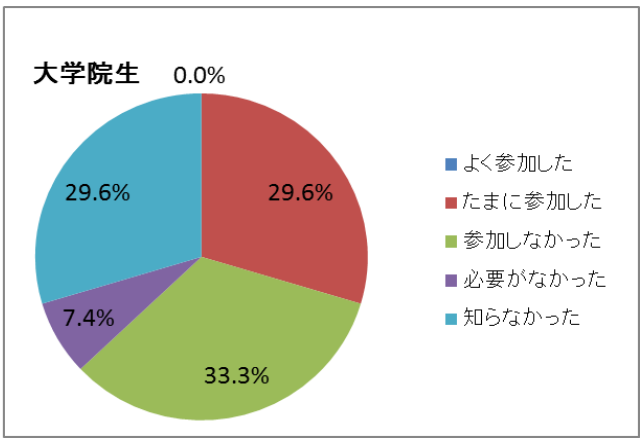
「就職や進学をする際に希望する地域はありますか」の問いに対し、学部生の回答で最も多かったのは、「福井県」の 36.1% 、大学院生では、「福井県」、「関西」、「東海」の 11.1% であった。



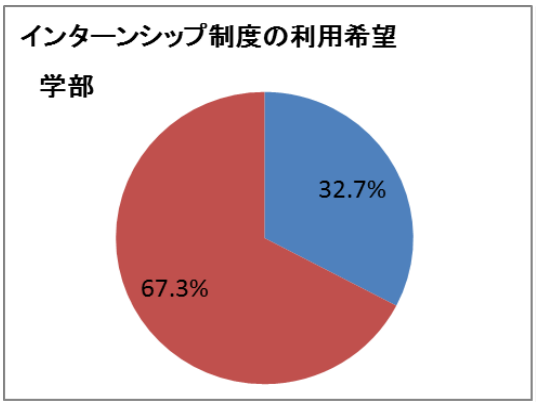


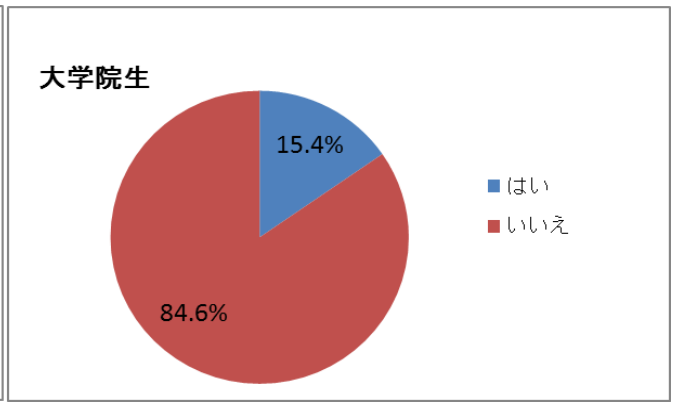
「キャリアセンターの事業（就職ガイダンス、個別企業説明会、個別相談等）に参加したことがありますか」の問いに対し、参加した学部生は 39.5% 、大学院生は 29.6% であった。





「インターンシップ制度について、学部1，2年次生のうちから利用したい（利用したかった）ですか」の問いに対し、「はい」と回答した学部生は 32.7% 、大学院生は 15.4% であった。

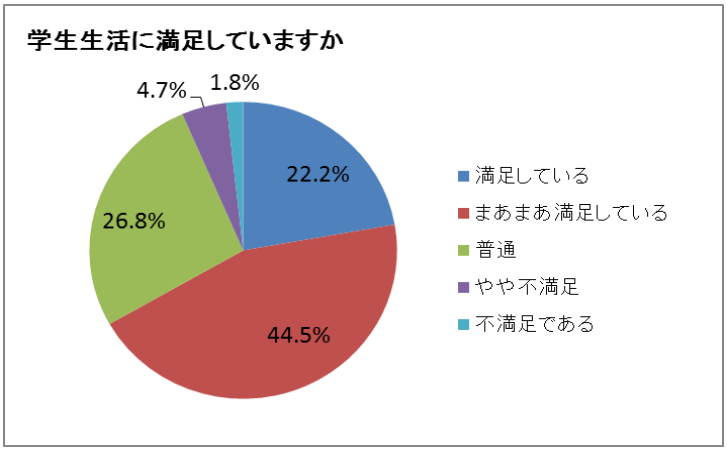




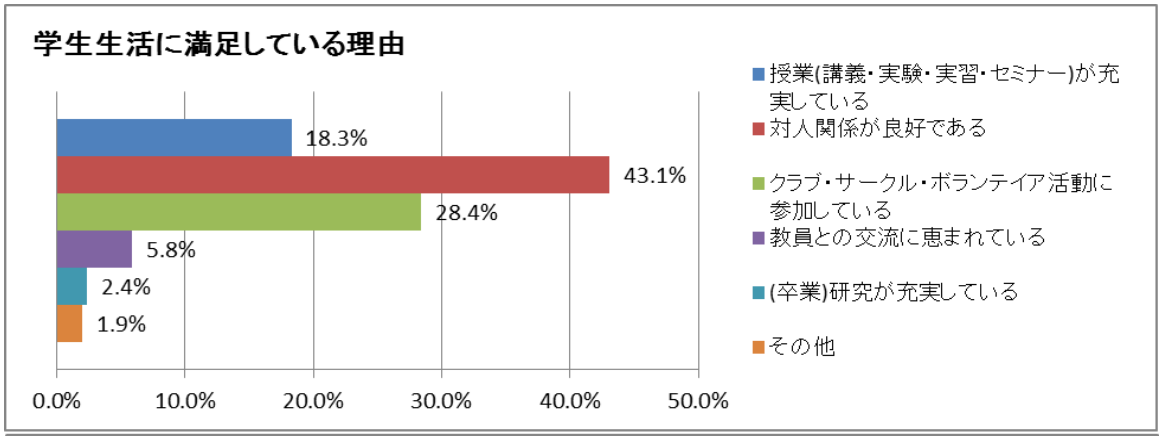
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

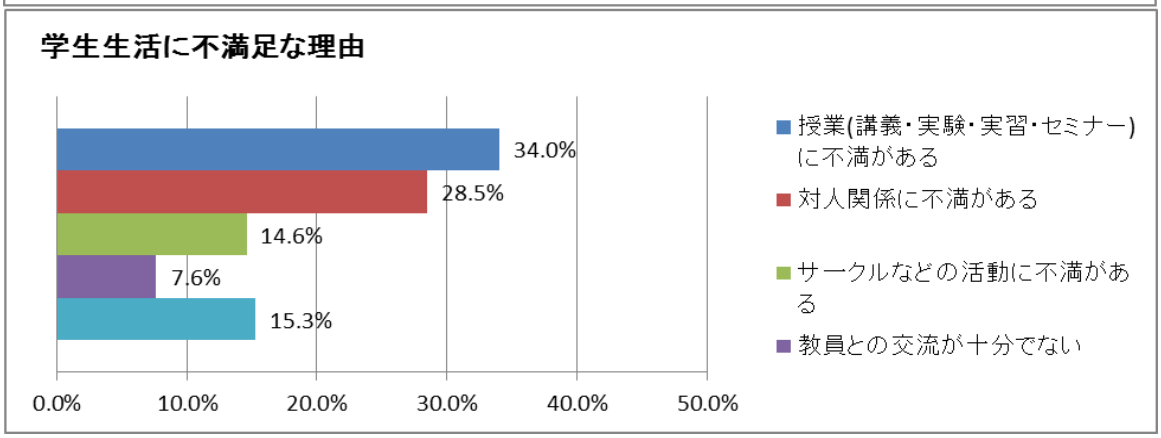
4　学生生活について

「学生生活に満足していますか」の問いに対し、「満足している」、「まあまあ満足している」は全体の 66.7% であった。「不満足である」、「やや不満」は全体の 6.5% であった。



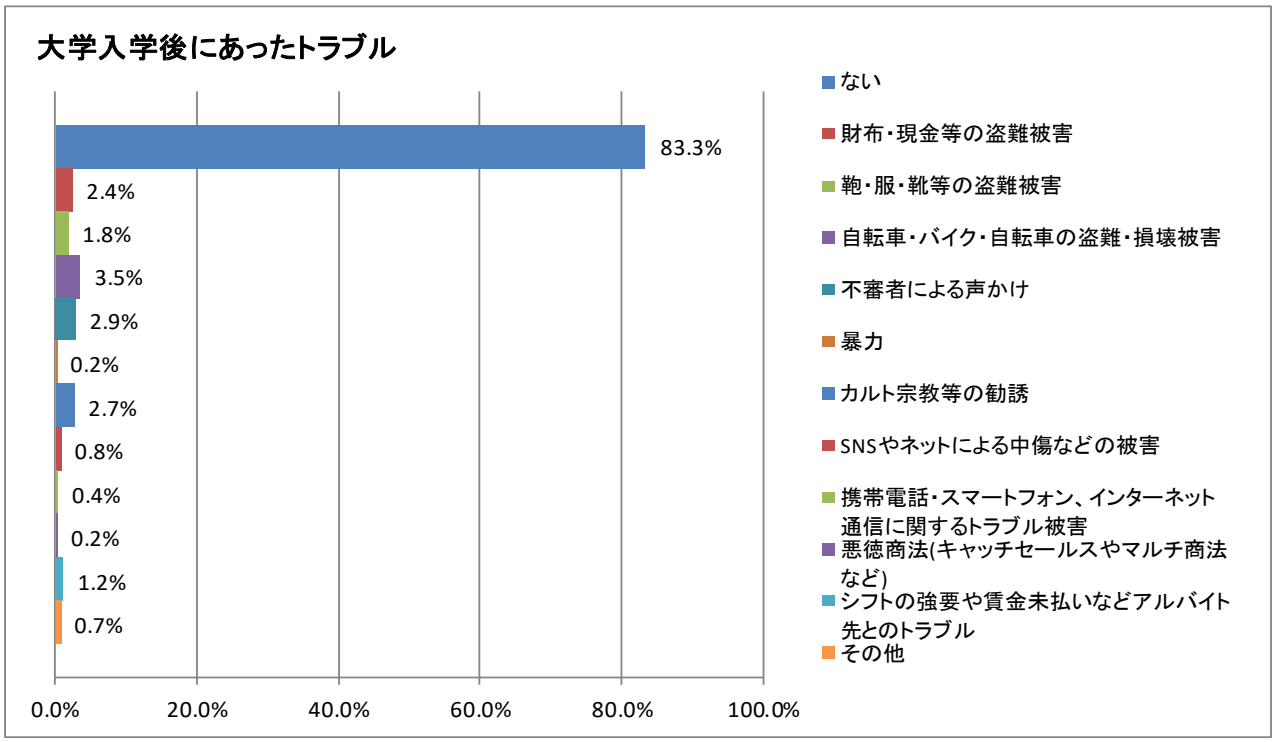
学生生活に、「満足している」、「まあまあ満足している」と答えた理由として多かったのは、「対人関係が良好である」、「クラブ・サークル・ボランティア活動に参加している」であった。
学生生活に、「不満足である」、「やや不満」と答えた理由として多かったのは、「授業（講義・実験・実習・セミナー）に不満がある」、「対人関係に不満がある」であった。





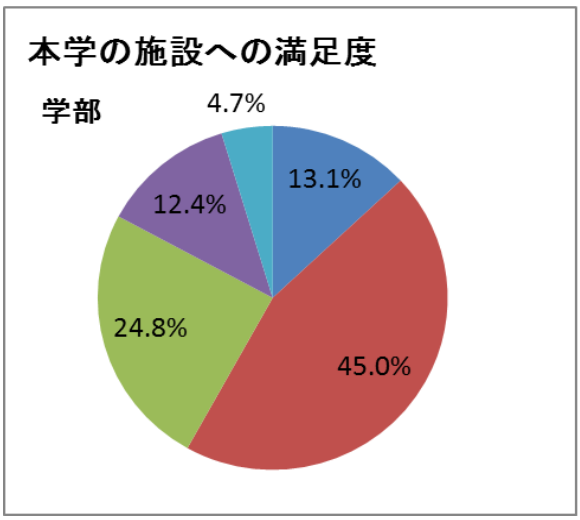
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

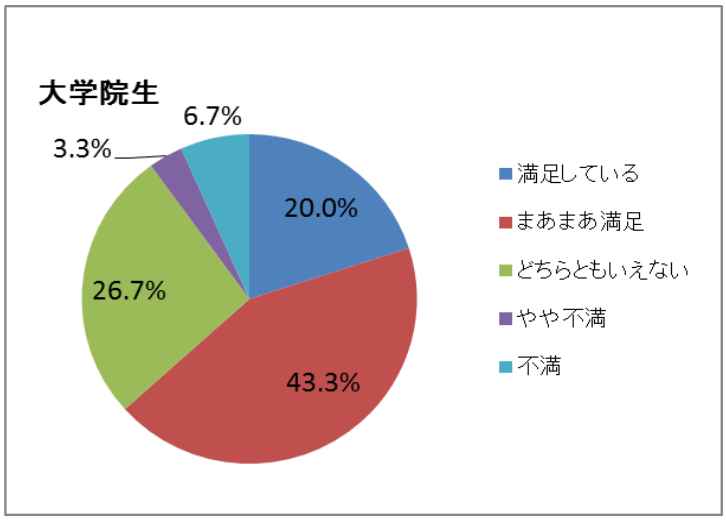
「大学入学後、トラブルにあったことはありますか」の問いに対し、「ない」と答えた学部生が 全体の88.5% であった。 トラブルの多かった順では、「自転車等の盗難」が3.8% 、「不審者による声かけ」3.0%、「カルト宗教等の勧誘」2.9%となった。



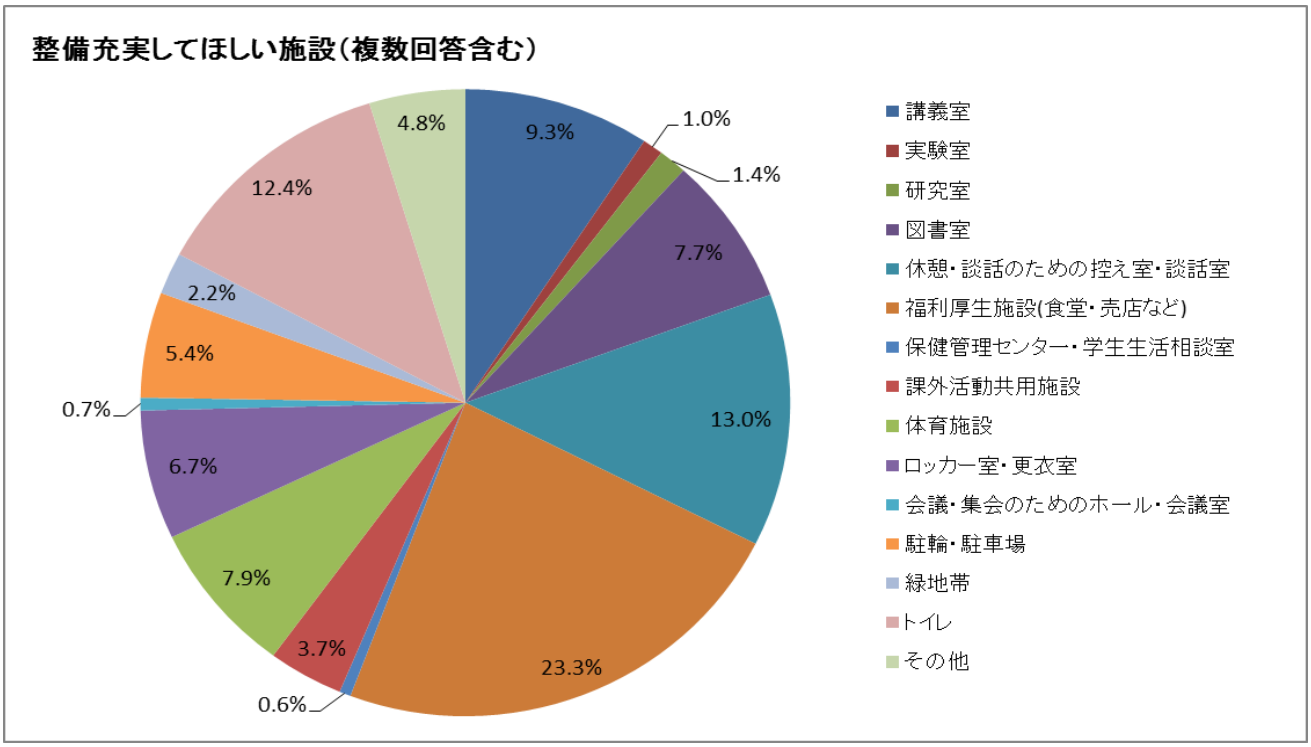
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

「本学の施設に満足していますか」の問いに対し、「満足してる」、「まあまあ満足」と答えた学部生は、58.1%　大学院生は、63.3%であった。



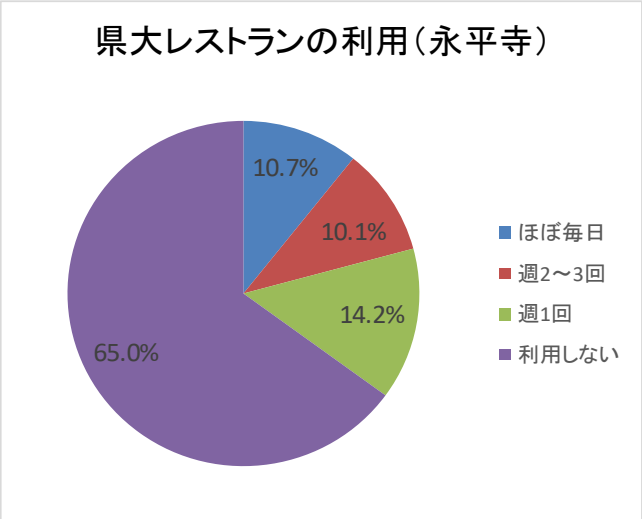


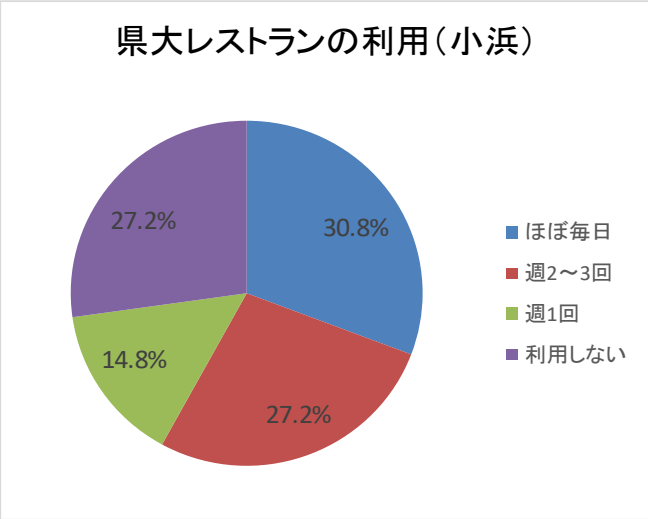
「本学の施設に満足していますか」の問いに対し、「どちらともいえない」、「やや不満」、「不満」と答えた学生が整備充実してほしいと思っている施設は、「福利厚生施設（食堂・売店など）」が 23.3% 、「休憩・談話のための控え室・談話室」が 13.0% 、「トイレ」が 12.4% であった。

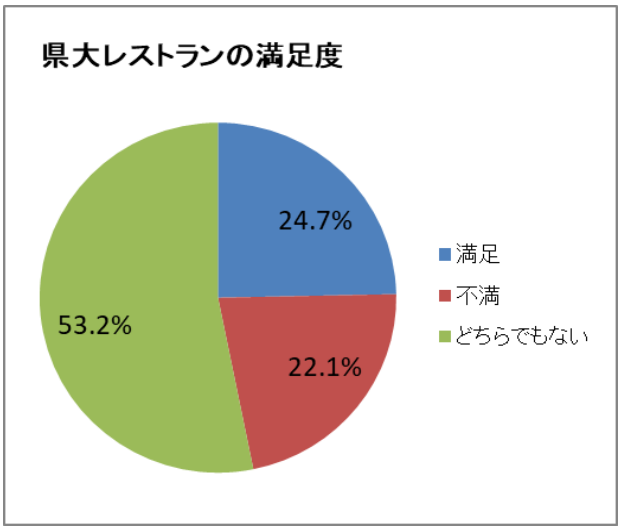


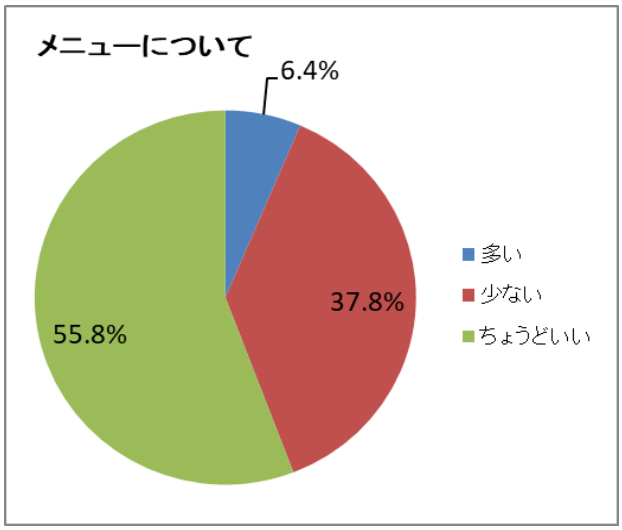
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

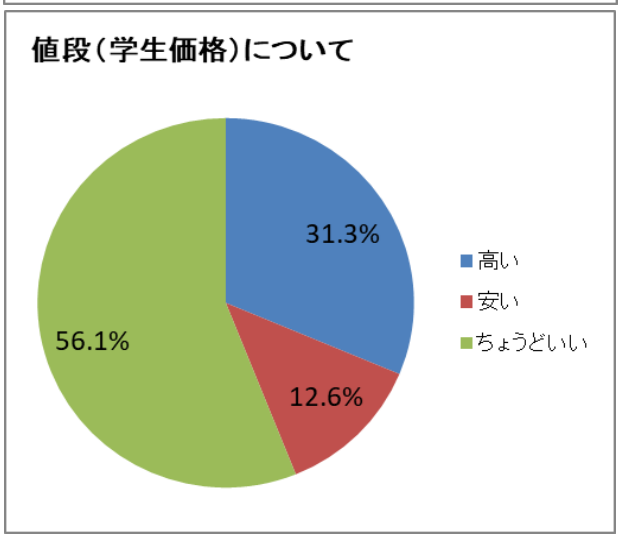
「県大レストランの利用頻度」の問いに対し、永平寺キャンパスの場合、利用者は全体で 35% となり、小浜キャンパスの場合、利用者は全体で 72.8%となった。
「県大レストランへの満足度」は、「満足」が 24.7% 、「不満」が 22.1% となった。またメニューおよび値段（学生価格）について「ちょうどよい」と答えた学生が半数を超えた。







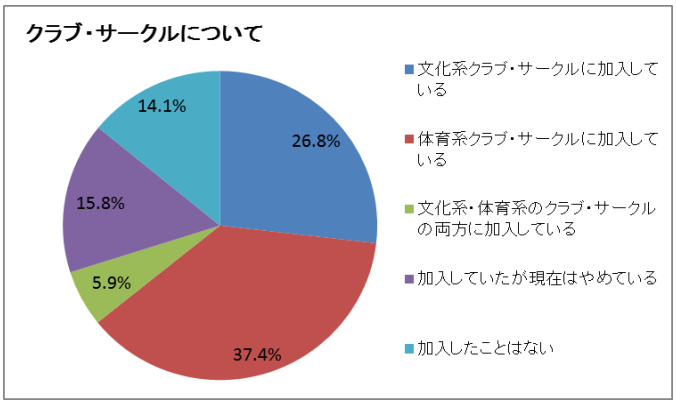




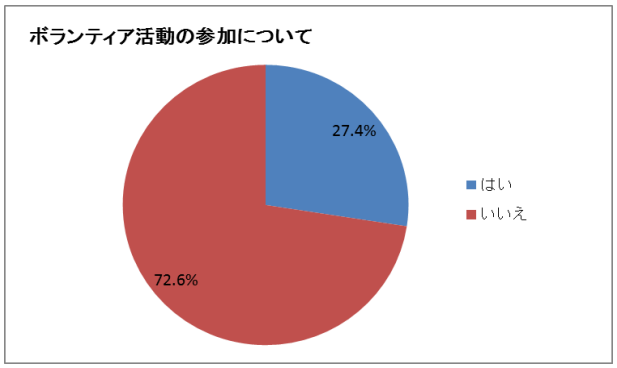
令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

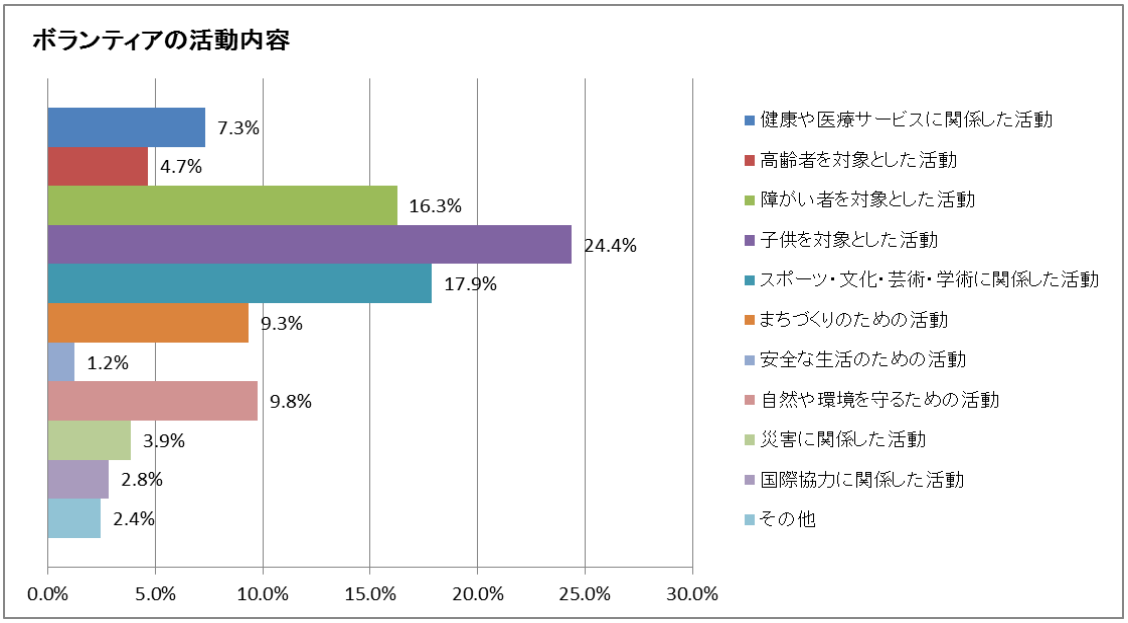
≪課題活動やボランティア活動について≫

「どのようなクラブ・サークルに加入していますか」の問いに対し、「体育系クラブ・サークルへ加入している」の回答が最も多く 37.4% であった。
1週間に費やすクラブ・サークルの活動時間は、「5時間未満」が最も多く 51.5% であった。



「ボランティア活動に参加したことがありますか」の問いに対し、「はい」は 27.4% 、「いいえ」は 72.6% であった。ボランティアの活動内容として多かった順に「子供を対象とした活動」、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」、「障がい者を対象とした活動」となった。

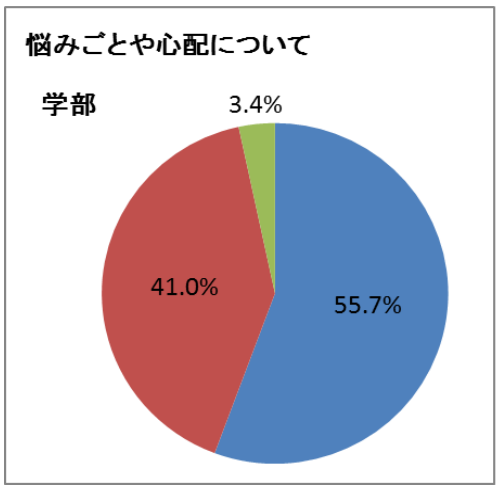


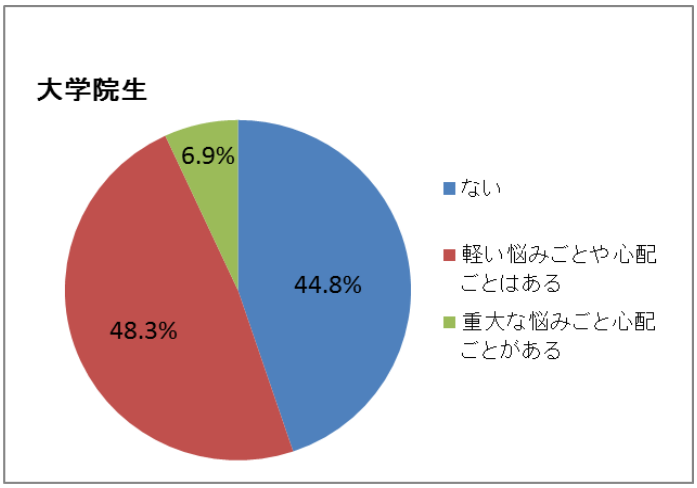


令和元年度福井県立大学「学生生活に関するアンケート」結果概要

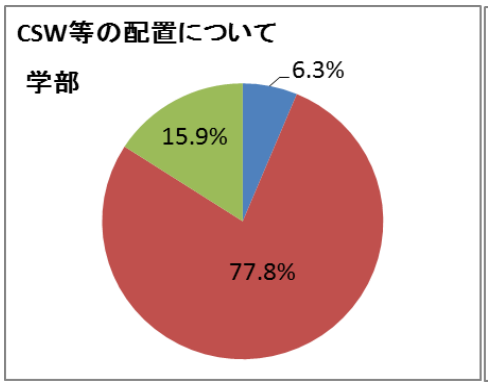
≪心身の健康について≫

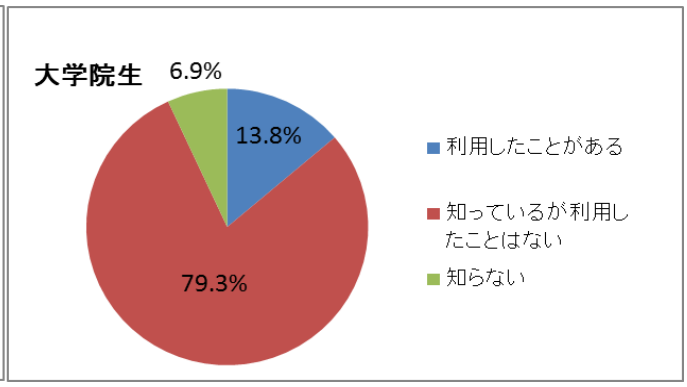
「学生生活における悩みごとや心配ごとがありますか」の問いに対し、「悩みごとがある」と答えた学部生は、回答した学部生の 44.4% 、大学院生は、 55.2% であった。

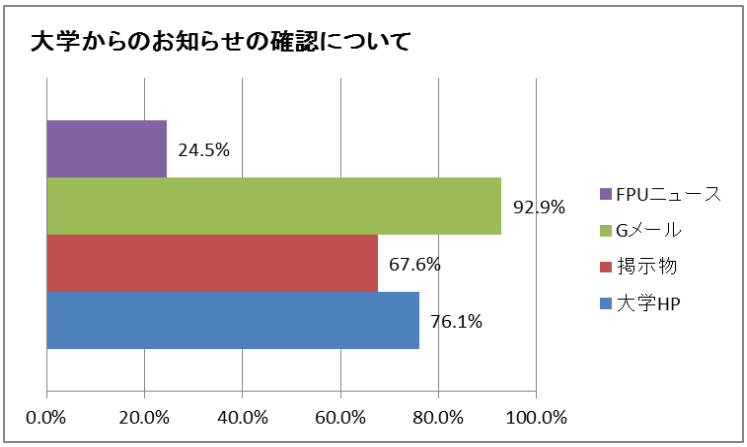




「キャンパスソーシャルワーカーやカウンセラーを配置していますが、知っていますか」の問いに対し、「利用したことがある」、「知っているが利用したことはない」と答えた学部生が合わせて 84.1%、大学院生が 93.1% であった。





≪その他≫

「大学からの授業やイベントに関するお知らせ」について、「よく見る」、「たまに見る」が最も多かったのは「Gメール」で 92.9% であった。